

農業と観光の拠点施設

～西原町農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業～

1. 沿革

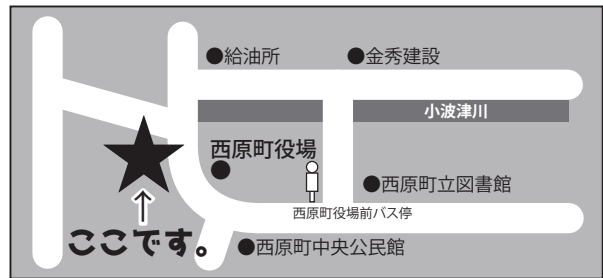
本町の農業は、さとうきびを中心に野菜、花卉、畜産経営が行われていますが、農業従事者の高齢化などにより、農家戸数や農家人口の減少傾向が続いており、また、これに起因する耕作放棄地の増大や、都市化による耕作地の減少など、様々な課題を抱えています。

このような状況の中で、本町では、平成20年度に耕作放棄地解消対策協議会を立ち上げ、耕作放棄地の再生利用による農産物の生産拡大を図るとともに、農産物の流通対策として直売所施設の建設や農産加工施設及びレストラン等の整備による6次産業化の取り組みを検討してきました。

そして、平成25年度から農業振興と観光振興を目的に、観光案内所や歴史資料館等と一体的に整備することが検討され、沖縄振興特別推進交付金(一括交付金)を活用して「農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業」をスタートしました。

2. 施設概要(基本設計より)

- 建築場所 字小波津地内
- 敷地面積 約8,310㎡
- 建築面積 約2,430㎡
 - 直売所、カフェレストラン、
 - 特産物加工所、歴史文化展示室
 - (観光案内所)、屋根付イベント広場
- 駐車場 普通車122台、身障者用3台、搬入車両9台



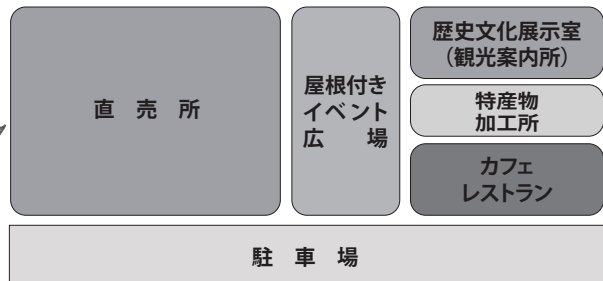
建設場所



施設外観図

3. 事業スケジュール

- 平成24年度 立地可能性検討業務
- 平成25年度 建設検討委員会設置
- 平成26年度 基本計画
- 平成27年度 基本設計
 - 調査測量業務
 - 物件調査業務
- 平成28年度 実施設計、用地取得
- 平成29年度 土木実施設計
- 平成30年度 建設工事(予定)
- 平成31年度 外構工事(予定)
 - 開設(予定)



施設配置図

4. 事業効果

農家・事業者・加工業者等の所得向上、雇用拡大、地産地消、観光振興に寄与。